



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2021年10月25日 第1041号「週刊五十嵐レポート」

売れている5本指靴下

10月18日付朝日新聞夕刊に「5本指靴下もう隠さない」という記事。5本指靴下がじわりと売れ行きを伸ばしている。冷え性対策やムレ防止に加え、ランニングで走りやすいと人気に。日本靴下工業組合連合会の統計によると2016年192万足だった生産数は19年には308万足と1.6倍に。

「靴下屋」を展開する「タビオ」(東証二部)によると、コロナ禍で他の靴下の需要が低下する中でも、5本指のスポーツ用ソックスは堅調。コロナ禍でもランニングなどは比較的取り組みやすいスポーツであることが影響している。

5本指靴下専門メーカー「ニッテイド」(和歌山県海南市)の井戸端社長は、「靴下市場全体で5本指靴下のシェアは現在7~8%ぐらいある」と。同社は1981年設立時から5本指靴下を作っている。当初は工場の作業用や健康法として着用されていた。徐々にスポーツやビジネス用にまで広がっていった。最近では、自宅用としてゆったりしたタイプが人気。

同社は、健康市場を狙い、得意先とバッティングしない異業種販路の開拓を目指し、直販会社を設立し、東京都立川に直営店を設立。またECサイトを立ち上げ、ヨガやピラティス向けの「ニッテイドプラス」など自社商品を展開。

会社年鑑(帝国データバンク)によると2018/3期売上972百万円、純利益26百万円、2019/3期売上990百万円、純利益25百万円、従業員54名。1人当たり純利益は46万円。ランチェスター経営調べでは中小企業の靴下製造業1人当たり純利益は7.2万円であり、平均の6倍以上稼いでいることになる。

私は普段から5本指靴下を履いている。今はほぼ毎日ランニングをしているが、欠かせないのがタビオのランニング用の5本指靴下。5本指靴下のお陰で指がむれることがなくなり、各指が地面を噛むように歩いたり走ったりしている。指が力強くなったように思われる。

5本指靴下専門メーカーがあることは知らなかった。調べていくと、やはりニッチ市場。今までは卸売りが主力、将来を見据えてエンドユーザー向けの直販を開始している。独自性と直販。ここに利益の源泉がある。

ちょっと
気になる出来事

帝国データバンクによると、2021年1月~9月までの倒産件数は4,534件、そして企業の休業業・解散は41,761件で倒産の9.2倍に上っていると。通念に比べ減少している。コロナ禍における無金利無担保融資や協力金等によるところが大きい。

10月24日付日経新聞に「中小負債10年ぶり高水準」という記事。中小・零細企業の資金繰りが悪化。無利子無担保の制度融資が22年末までに返済が始まる。

借入金から手元の現金を引いた実質有利子負債をEBITDA(利払い・税引き・償却前利益)で割った返済負担を調べると、資本金10百万円未満の企業は14倍近い。資本金1億を上回る企業は4.7倍。この倍率は毎年の利益を借入金返済のみに充てた場合に完済するまで必要な年数を示す。中小・零細企業は返済に14年かかるということ。通常5~7年とみると、今後、借金体質の中小・零細企業の経営は危ういということが解る。

今は倒産や廃業も通年より少ないが、来年末以降増加に転じる恐れがある。一人当たりの粗利益を高める努力をしよう。



一口メモ
知識

分限を守る

抛るべきところにあらずして抛るときは、身必ず危うし。

「抛るべきところ」とは、自分の分限にあった地位・立場・行動などをいう。

そういう分限を守らず、分不相応な地位や名誉をてにしたとしても、重責に耐えられず、恥辱を受けて苦しむことになる。

自分の分限を大きく外せば、必ず身が危うくなる。地位や名誉を失うだけでなく、時に生命にも関わると強く戒めている言葉である。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

